
企業における地域貢献活動に関する調査

結果報告

平成23年1月

自治振興部地域協働課（市民活動センター）

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果	2
	1 企業の地域貢献活動に関するアンケート	2
	2 企業へのインタビュー形式による聞き取り調査	9
III	調査結果に関する考察	28
IV	おわりに	31
V	資料	32

I 調査の概要

1 調査の目的

廿日市市内における企業、事業所、公共的団体などの地域貢献活動の現状について把握し、多様な主体の協働によるまちづくりにおける新たな連携・協力の仕組みづくりや支援のあり方の基礎資料とする。

2 調査対象

廿日市市内における企業、事業所並びにこれらの企業、事業所によって組織される商工会議所及び商工会、また、農業協同組合、森林組合、漁業協同組合その他の協同組合といった公共的団体（以下「企業など」という。）

3 調査項目

地域貢献活動の現況（CSRへの考え方、取組実績、社内体制、従業員のボランティア活動などへの参加状況、他のセクターとの連携など）や課題、展望など

4 調査期間

平成22年6月～平成22年10月

5 調査方法

（1）企業の地域貢献活動に関するアンケート

廿日市市内（宮島地域を除く）の企業など60社に対し、郵送により実施した。対象企業などの選定に当たっては、廿日市商工会議所、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会の協力を受け、これを選定した。なお、宮島地域については、宮島町商工会や宮島支所と調整した結果、アンケートは実施しないこととした。（インタビュー形式による聞取調査のみ）

アンケート回収結果 60社中、回答29社（回収率48%）

（2）企業へのインタビュー形式による聞取調査

（1）の回答結果と市が入手している情報を踏まえて抽出した25社に対し、聞取による調査を実施した。

Ⅱ 調査結果

1 企業の地域貢献活動に関するアンケート

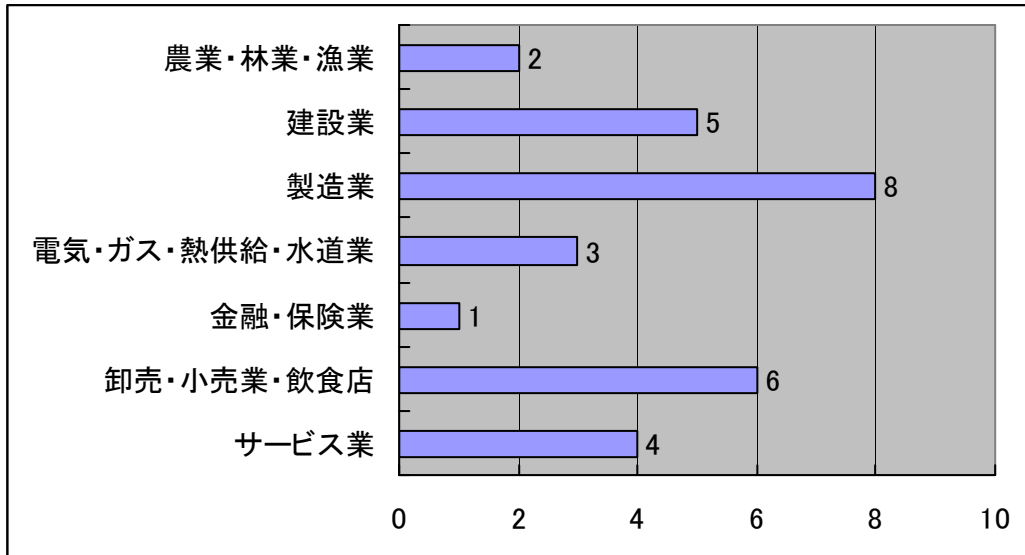
★アンケートのねらい

このアンケートは、廿日市市内における企業などがどのように地域と関わりながら、地域貢献活動をどのように展開しているのかといった現状把握を主な目的とした。

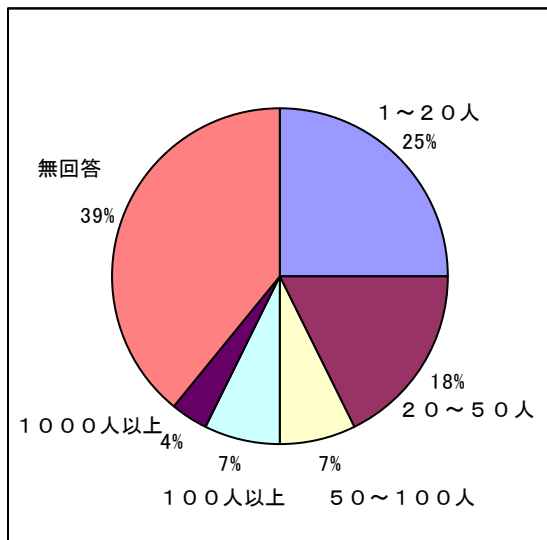
また、アンケート結果から対象を絞り込み、特定の企業などに対し、さらに取組みの詳細についてインタビュー形式による聞き取り調査を前提としていることから、企業などと多様なまちづくりの主体との協働による特徴的な事例などを回答してもらうことができるよう、工夫して質問項目を設定した。

★アンケート回答企業の主な属性

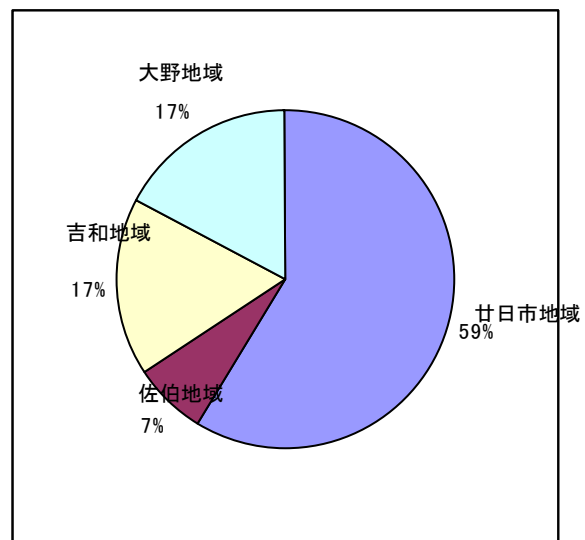
[業種]



[従業員数]



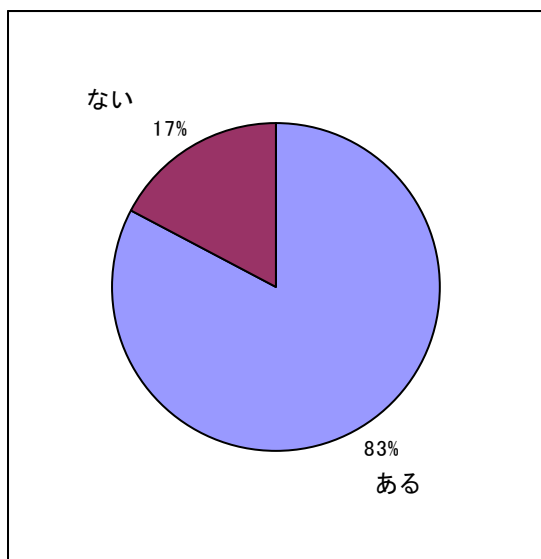
[回答のあった企業などの所在地] (宮島地域を除く)



★アンケートの回答結果

Q 1 町内会や自治会といった地縁団体やNPOなどの市民活動団体、学校などと日頃から関わりをもって、連携して活動をしていることがありますか。(いずれかに○をつけてください)

例) 地域の一斉清掃への参加や通学児童の見守り、インターンシップやキャリアスタートウィーク(中学生の職業体験)の受け入れなど



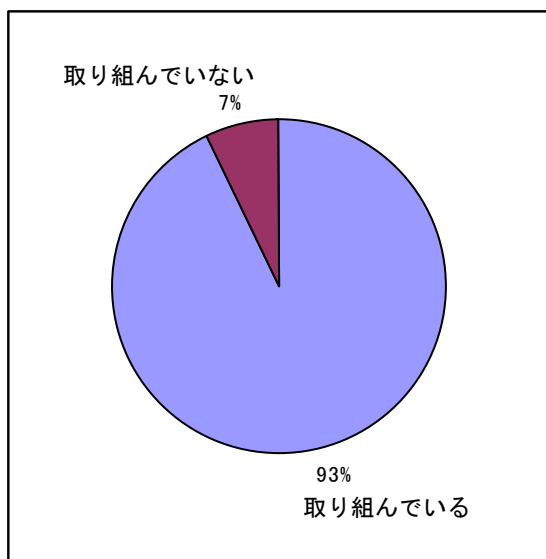
「ある」との回答が83%、企業などが地域や市民活動団体と何らかの関わりを持っていることが伺える。

「ある」と回答したもののうち、記述回答では、インターンシップやキャリアスタートウィークの受け入れといった企業などの所在地である地域内の学校との関わりが最も多かった。

また、清掃活動、イベントへの寄附、通学児童の見守りなど企業などの所在地における極少単位の町内会・自治会との関わりも多くみられる。

その内、清掃活動や通学児童の見守りについては、企業など周辺や最寄りの駅に限り実施しているという回答もあった。

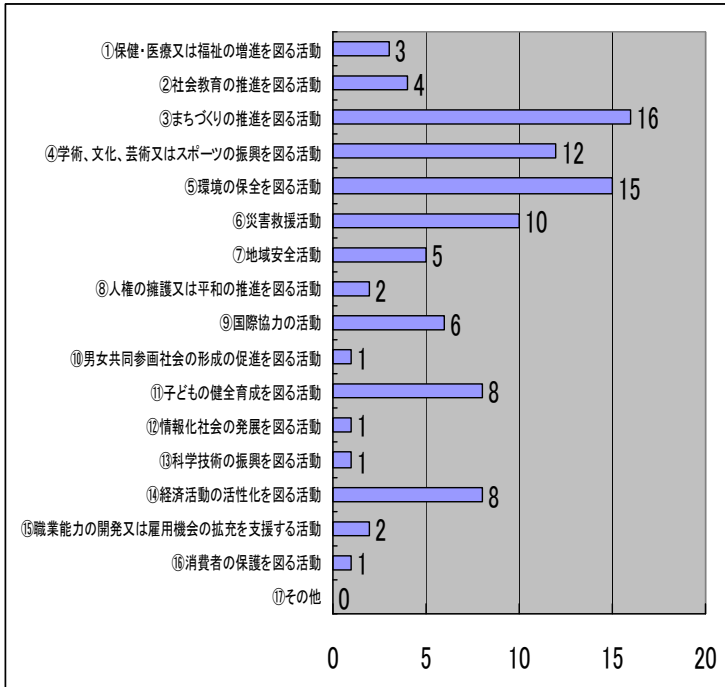
Q 2 Q 1の活動も含め、その他に「企業の地域貢献活動」に取り組んでいますか。(いずれかに○をつけてください)



「取り組んでいる」という回答が93%、何らかの地域貢献活動を実施しており、地域貢献活動も企業(事業所)活動の一部として定着していることが伺える。

※「取り組んでいない」との回答が7%、その理由についてはQ10へ記述

Q3 どのような分野の取り組みですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)



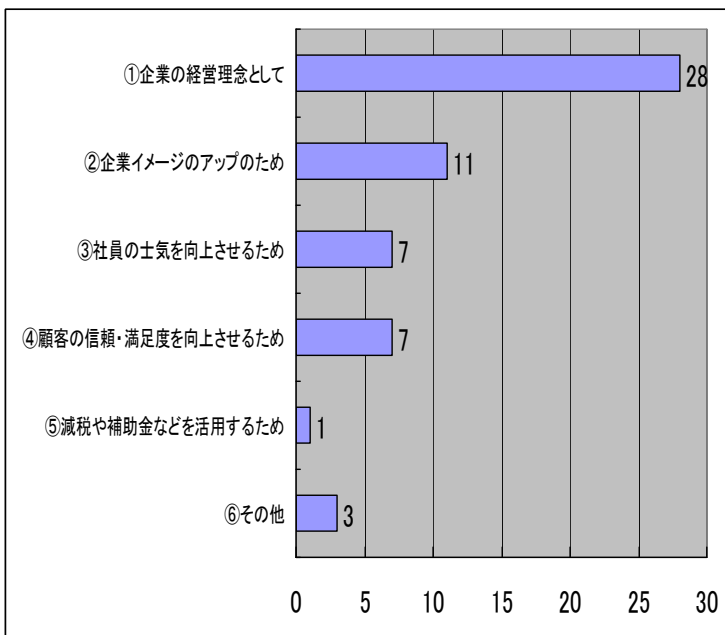
選択する分野については、特定非営利活動促進法第2条に定める活動とした。

最も回答が多かったものは「まちづくりの推進を図る活動」(16)、次いで「環境の保全を図る活動」(14)、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」(11)となっている。

コミュニティ組織、町内会・自治会などの一定程度組織された、行政とも連携のある団体が地域にあり、そこへ企業協力として参加するだけでも活動が可能であることから、地域貢献活動の中心は地域協力であることが伺える。

また、企業などにおいても環境問題への対応が積極的になってきていることも分かった。

Q4 何を目的として取り組んでいますか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

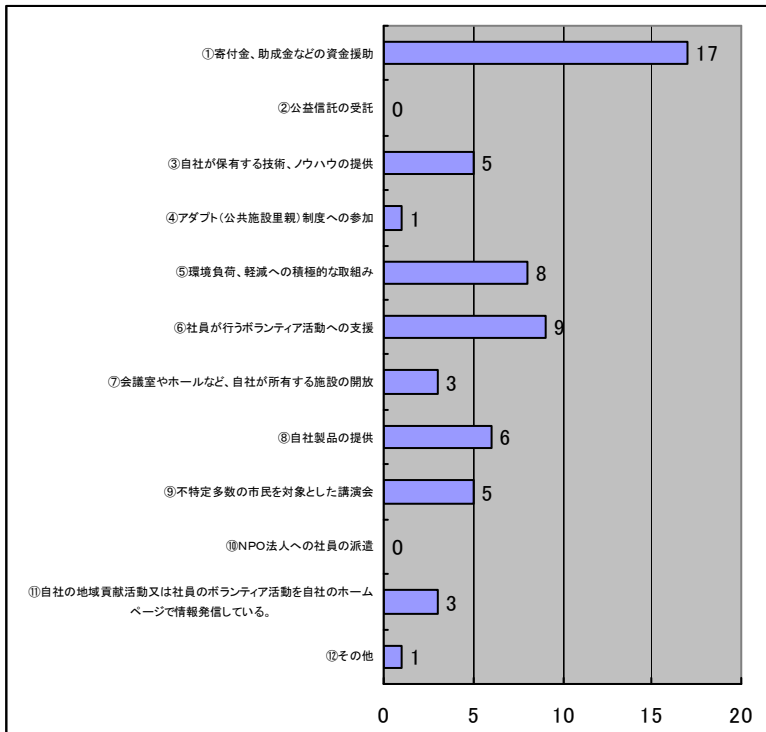


「企業の経営理念として」という回答が最も多く、企業なども地域の一員としての役割を果たす必要があり、地域が必要としていることに応えることが地域に根ざすものの役割と考えられていることが伺える。

また、「企業のイメージアップのため」、「社員の士気を向上させるため」、「顧客の信頼・満足度を向上させるため」(計25)という回答から、何らかのかたちで企業などの利益を期待して地域貢献活動に取り組んでいることも分かる。

「その他」では、「地域貢献」(2)、「入札参加資格における加点要素として」(1)という回答があった。

Q5 どのような手法・手段による取組みですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

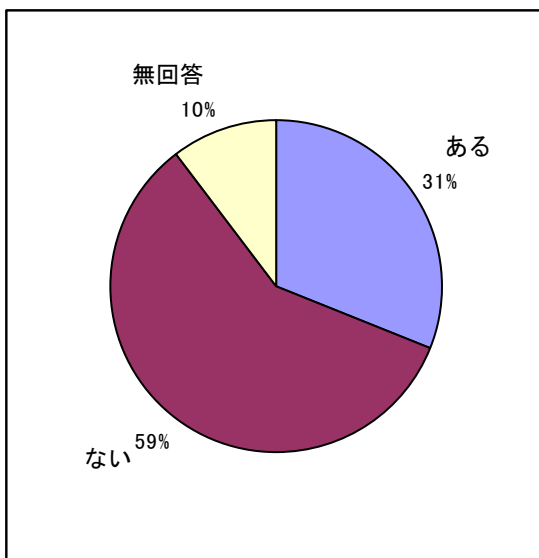


具体的な地域貢献活動の取組みとしては、「寄付金、助成金などの資金援助」(17)が最も多い。これは従業員数など企業規模に比較的左右されず、取り組みやすいのではないかと考えられる。

次いで、「社員が行うボランティア活動への支援」(9)の回答から、社員(従業員)が地域貢献活動に取り組みやすい体制づくりも進みつつあることが分かる。また、この項目を選択した企業などのうち、7社が廿日市地域であった。

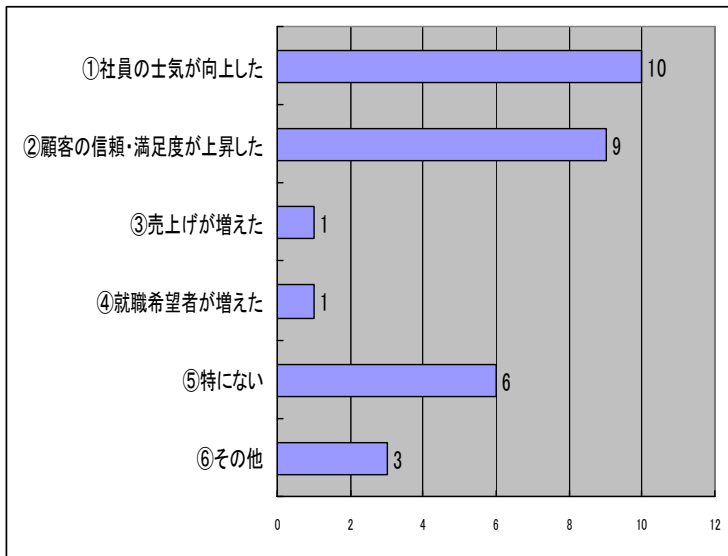
Q6 企業や社員の地域貢献活動に関することについて、社是、社訓や就業規則に明文化・制度化されたものがありますか。(いずれかに○をつけてください。)

例) 地域貢献活動に関する方針、社員の行動規範、ボランティア休暇制度、社員の顕彰制度など



「ある」との回答が29%、そのうち、経営理念や方針、就業規則などへの明文化が4社、ボランティア休暇制度3社、表彰制度1社であった。いずれも廿日市地域の企業などの回答である。

Q 7 地域貢献活動に取り組んで、よかったことは何ですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)



「社員の士気が向上した」(10)、「顧客の信頼・満足度が向上した」(9)という回答が多い。地域貢献活動に取り組んでいる企業などが、自らの組織の活性化についての成果と、地域や顧客との信頼関係の構築という効果を実感していることが伺える。

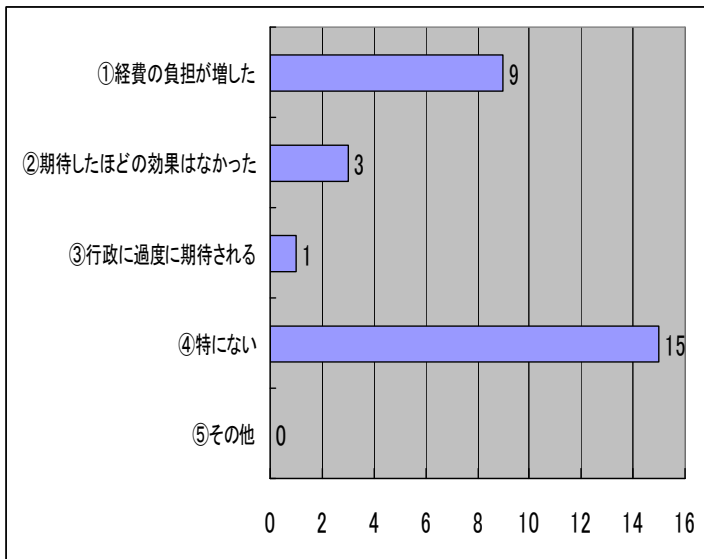
「その他」の記述回答では、「地域住民との相互理解」、「地域の方とのコミュニケーションがよく取れる」、「産官学の新しい出会いがあり、企業の幅が広がる」、「地域住民から感謝された」などがあつた。

Q 8 取り組んでいる場合、自慢の取組みを教えてください。

- ・ 駅などの街灯について、高所作業車（自社所有）を使って清掃
- ・ バドミントン部による地域への指導
- ・ サイエンスショー
- ・ 漁民の森づくり（広島西部ロハスの会による取組み）
- ・ 毎週1回会社周辺を清掃
- ・ 竹原市山林への植樹
- ・ 店舗周辺の一斉清掃
- ・ 文化活動、スポーツイベントの協賛
- ・ 地域の（児童養護）施設を毎年訪問し、交流を深めている。
- ・ 薬や健康に関する講演会講師の派遣
- ・ ペットボトルキャップ回収への協力
- ・ 分別回収による収益の一部をポリオワクチンとして世界の子どもに寄贈
- ・ 商店街のお祭りに参加

(※ アンケートの回答をすべて掲載)

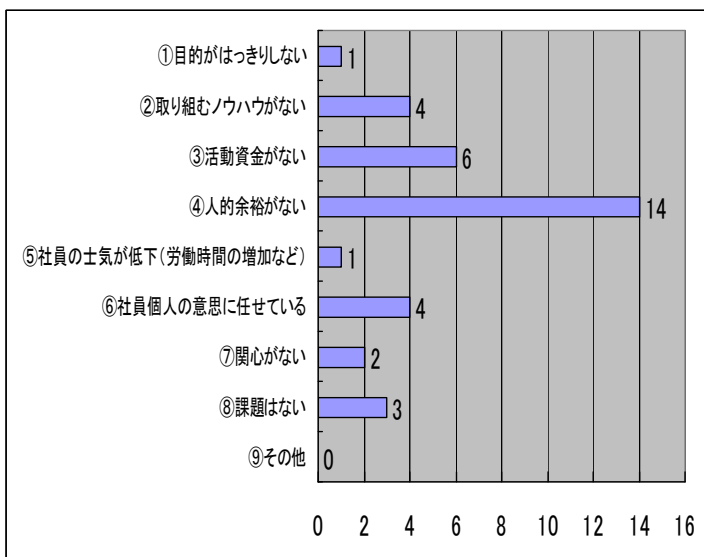
Q 9 地域貢献活動に取り組んで、悪かったことは何ですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)



最も多かった回答は「特にない」(15)、次いで、「経費の負担が増した」(9)、企業などにおける課題を認識しつつも、地域貢献活動そのものに意義を認めないことが理由であるケースはほとんどないことが伺える。

Q 10 企業が地域貢献活動に取り組むにあたって、課題や支障となっていることは何ですか。

(該当するものすべてに○をつけてください。)



「人的余裕がない」(14) という回答が最も多かった。

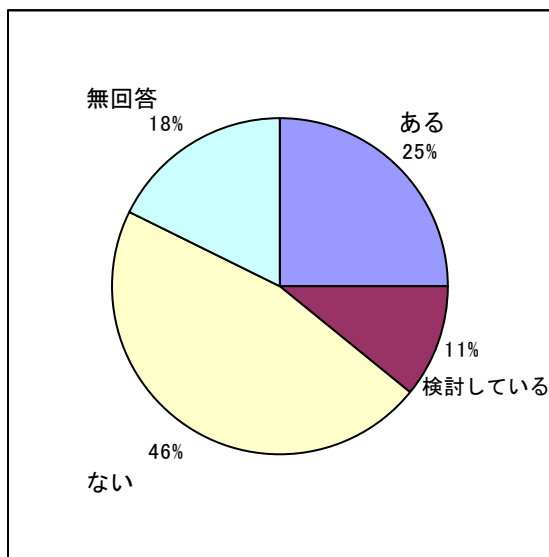
今回のアンケートは従業員数50人までの企業などが約半数を占めている。企業などの地域貢献活動は、人員の提供による地域協力が多く見られることから、比較的小規模の企業などにおいては、経営上フォローの必要性を感じていることが伺える。

Q 1 1 企業が地域貢献活動に取り組む場合、行政からどんな支援があるとよいですか。

- ・ 特別な支援は必要ないが、企業も精一杯努力していることを理解いただき、行政も無駄を排除し、メリハリのある施策を期待
- ・ 地域活動グループとその目的、代表者などを一覧で知らせていただきたい。
- ・ ライオンズクラブなどの団体に行政からの希望があれば連絡してほしい。
- ・ かかる経費について、税務上経費計上できればいいと思う。
- ・ 教育機関との連携をとりなしていただくと助かる。
- ・ 地域木材の活用には、地域の企業間ネットワークが必要で、その企業から生産された製品を使用するシステムが必要。
- ・ 公共工事の木質化、内装だけでなく構造体も木造できるように木造に詳しい設計士を使うように
- ・ 補助金など、資金面の援助
- ・ 広報活動の支援
- ・ 多方面における優遇制度
- ・ 催事における国、県との協力

(※ アンケートの回答をすべて掲載)

Q 1 2 今後、地域貢献活動の範囲を広げる予定がありますか。また、今後、地域貢献活動に取り組む予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)



「ある」との回答が25%、「検討している」との回答が11%である。

具体的には「エコアクション21」、「木質バイオマスとして燃料にする薪ストーブの販売」、「美術品展示」、「薬、健康情報の出前講座」、「高校生のインターンシップ受入れ」、「マイロード、マイリバーに参加、認定」といったものである。

予定が「ない」との回答が46%、その理由について「人員不足」、「資金の負担が多い」、「現状で十分」「本業が安定であってのこと」という回答だった。

2 企業へのインタビュー形式による聞取調査

★インタビュー形式による聞取調査のねらい

廿日市市内における企業、事業所、公共的団体など（以下「企業など」という）の具体的な地域貢献活動の様子や、地域や他のセクターとの関わりなどについて直接聞き取ることで、現状を具体的に把握するとともに、市民活動センターが持つ5つの機能のうち、産官学民の連携といった「ネットワーク機能」についてのアナウンス、企業などとのチャンネルづくりとして実施した。

★聞取調査実施企業

デリカウイング株式会社【廿日市地域 食品製造業】
カルビー株式会社 広島西工場【廿日市地域 菓子製造・販売】
永本建設株式会社【廿日市地域 木造住宅設計施工・リフォーム】
宮島町商工会青年部【宮島地域】
宮島郵便局【宮島地域 郵便事業 他】
やまだ屋【宮島地域 和菓子製造・販売】
株式会社中沢商事【吉和地域 食料品などの小売業 他】
梶広建設株式会社【吉和地域 建設業・一般土木建築工事業】
クヴェーレ吉和【吉和地域 サービス業（温泉、スキー場など）】
県立もみのき森林公園【吉和地域 公園管理・地域活性化事業実施 他】
株式会社 竹内【大野地域 給排水工事業 他】
おきな堂【大野地域 和菓子製造・販売】
藤い屋【宮島地域 和菓子製造・販売】
中本造林株式会社【佐伯地域 林業・製造業】
佐伯商工会【佐伯地域】
株式会社広島銀行廿日市支店【廿日市地域 金融業】
中国電力株式会社 廿日市営業所【廿日市地域 電気業】
安田金属株式会社【廿日市地域 製鋼原料などの加工・販売、廃棄物収集運搬処理業 他】
三共ポリエチレン株式会社【廿日市地域 ポリエチレン、各種ラミネート製品製造・販売】
株式会社中電工 廿日市営業所【廿日市地域 電気設備工事 他】
フマキラー株式会社 広島工場【大野地域 殺虫剤などの製造・販売】
株式会社A & C【大野地域 飲食業・宅地建物取引業】
広島信用金庫宮島口支店【大野地域 金融業】
公和物産株式会社【大野地域 小売業・飲食業 他】
宮島漁業協同組合【宮島地域】

※ 調査実施日順に掲載した。

★聞取調査の内容

デリカウイング株式会社【廿日市地域 食品製造業】

調査実施日：平成22年9月28日（火） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 自社で集めたダンボールを回収したお金を、近隣町内会（佐原田、六本松）に寄附している。
- ・ 地域の行事やイベントなどへ寄附する。（相手方は子ども会が多い。）
- ・ スポーツをテーマにまちを活性化させることができればと、「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン」（以下「トライアスロン」という。）を開催、特に力を入れている分野である。
- ・ 廿日市商工会議所としての取組みでもあるが、ハワイ州コナ・コハラ商工会議所と姉妹商工会議所として提携し交流している。コナ市は廿日市市からの移民も多く、ロケーションが似ている。

②日頃感じていること、課題や悩みなど

- ・ 寄附については、あまりオープンにやると近隣商店への影響がある。
- ・ 工業団地に移転してから、周りは住宅団地、町内会など近所のつながりの意識が薄れてきているということを感じている。
- ・ 地域が元気だからこそ、会社の利益も上がる。そのために貢献することは地域の一員として当然だと思っている。

③実施体制

- ・ 経営理念、スローガンは「Happy Together」、すべてのステークホルダー含めて地域社会全体がHappy Together、ということ念頭に置いている。
- ・ 寄附は、経営者の判断で会社の利益から支出している。
無償提供するためのお弁当やむすびを従業員が作り、配達までさせている。従業員の理解や協力あつてのこと、経営者の思いとしては、従業員には本当に申し訳ないと思うと同時に感謝している。
- ・ 仕事にしても、地域貢献にしても、「食品づくり」という従業員がやることは変わらない。その「食品づくり」そのものがお客さんや市民に喜ばれていることが、従業員の喜びとなっていると思う。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地産地消に取り組みたい。今の工場の規模で商品を製造するために必要な地元産の材料となると、JAではとても提供しきれない。このため、地元で取れた野菜などを使ったレストランをつくりたい。
- ・ コナ市のキッズフラ（フラダンス）を廿日市市に招待し、コナ市へは佐伯地域栗栖地区の子ども神楽団を派遣するというような交流、コナ市の絵画や写真を美術ギャラリーで展示、展示終了後はチャリティで販売する、といったような「文化」を切り口にした取組みを考えている。
- ・ 民間の熱意だけでは限界がある。しかし、お金ではない。動機付けが大切である。取組みに対し、市（市長）の存在があるだけで、その取組みの実現性、重み付けなどがずいぶん違うと思う。

カルビー株式会社 広島西工場【廿日市地域 菓子製造・販売】

調査実施日：平成22年9月28日（火） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 廿日市市・大竹市中学校教頭会（教頭14名）が工場見学及びカルビーの経営戦略について学ぶ。

- ・ 佐伯地域小学校駅伝大会（以前のカルビーカップ）を、NPO法人ポラーノ（佐伯総合スポーツ公園指定管理者）、NPO法人廿日市市スポーツ協会（佐伯地域連盟）との共催により開催、今年で第4回の開催となった。
- ・ ラッピングみやざき運動※1に参加、ステッカーを営業車28台（九州地区）に貼っている。
- ・ 工場内での従業員の飲料について、エコキャップ回収運動※2へ参加している。
- ・ 8月に開催された広島国際アニメーションフェスティバルで、かっぱえびせんを商品提供した。
- ・ 「宮島トライアスロン」の開催にあたり、事前の清掃活動に参加、また、エイドステーション（大野地域）の運営応援をした。
- ・ 10月16日、広島工場周辺の清掃活動を40名前後で実施した。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域の一員として関わるということを始めただけなので、とにかくチャレンジ、長期スパンで取り組んでいくつもりである。取組みの中で見えてきた課題を1つ1つクリアしていきたい。
- ・ 地域の方には親近感を持ってもらえている。

③実施体制

- ・ 社員はすべてボランティアで活動している。地域の社会貢献委員会というのがあり、広島工場に2名、広島西工場に2名の委員がおり、この委員が中心となって地域貢献活動への参加を従業員に呼びかけている。毎回、自主的に参加する社員も含めて10～20名の参加がある。
- ・ 昨年までは、寄附や物品提供のみだったが、今年からは地域に出向き、地域の一員として関わることを始めた。
- ・ 最初は強制でも、「楽しかった」「おもしろかった」という参加した従業員の反応がある。
- ・ あえて、企業色を出さないで地域貢献に取り組んでいる。地域に愛される企業でなければ、利益はありえない。ステークホルダーに愛され、地域と共に発展して、還元していくことが重要。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 5年前宇品から、廿日市に広島工場が移転し、2工場の操業体制となる(広島西工場・広島工場)。地域の皆さんにカルビーをもっと知って頂くために、地域社会とのつながりをより一層大切にしていきたいと思っている。

※1 ラッピングみやざき運動

宮崎県の口蹄疫で、経済的にも精神的にもダメージを受けている方々の支援をすることを契機に、宮崎県内の有志が立ち上げた市民運動。活動をイメージしたステッカーを販売し、経費を除いた売上金を県民のために利用できる都農基金に充当している。

※2 エコキャップ回収運動

「再資源化」「CO2の削減」「発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る」という3つのテーマをシンボルフレーズとして平成19年8月に設立されたNPO法人エコキャップ推進協会による取組み。キャップの回収・提供には子どもから大人まで多くの個人、企業、学校、労働組合、その他多くのグループが参加している。

永本建設株式会社【廿日市地域 木造住宅設計施工、リフォーム】

調査実施日：平成22年9月30日（木） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 全国的なネットワーク「地域主義工務店の会」(※3)に所属している。
- ・ 広島県主催の「漁民の森づくり事業」が2004年に終了、地御前漁協から引き続きやりたいとい

う声があがり、無償で借りることができる山を探した。これが見つかり、毎年、佐伯地域浅原地区の山林で「廿日市漁民の森づくり」として、次世代を担う子どもたちが、植林活動を通じて山と海の環境を守ること、環境の大切さを次世代に伝えるイベントを開催している。

- ・ このような経緯から、事業の実施主体となる「広島西部ロハスの会」が発足、自分や家族をはじめ、周りにいる人たちが「ココロと体が健康で心地よいくらし」ができる環境をつくることを目的にしており、現在では異業種の方も参加していただいている。
- ・ 大田川流域S G E C(※4)ネットワークに加盟するなど、環境への取組みを切り口にまちづくりに関わっている。
- ・ 「広島掃除に学ぶ会」(※5)で広島県内の学校のトイレ掃除に従業員とともに参加している。
- ・ 経営者個人のことでは、修道大学に2年間非常勤講師として授業を受け持っている。これまでにやってきたことが、何か若い人たちの力になればと思う。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 民間は情報収集力、情報発信力は弱い。産官学協力し合う場などがあればよいと感じている。

③実施体制

- ・ 本業である建設業に重きを置き、木の文化、木造住宅のよさを提供したい。中でも社内大工など人材育成に力を入れている。素直な社員が一番である。
- ・ 「当たり前度」を上げて、よい社風を造ることが経営者の仕事である。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 行政にはこうした企業の地域貢献への取組みを認めてもらいたい。補助金を要求するのではなく、例えば「廿日市ポイント制」といったような地域社会への貢献を循環させるしくみがあり、その中で、市が認証してくれて、認証が得られた企業などの連携、取組みが活発化することによって認知度が上がり、地域を守る仕組みができれば、悪質業者の参入も減少するのではないかと思う。

※3 地域主義工務店の会

地域に根ざす木の家づくりを通して、地域循環型社会に貢献する工務店組織

※4 S G E C

「緑の循環」認証会議。持続可能な森林経営を通じて、森林環境の保全と循環型社会の形成に貢献する団体。S G E Cラベルは環境にやさしい林産物であることを識別するためのツールとなる。

※5 掃除に学ぶ会

平成5年に「日本を美しくする会・各地掃除に学ぶ会」と統一、以降全国で「ココロ磨き」の会として、掃除を通して自分たちの心と社会の荒みをなくすことを目指す。学校を借りてトイレ掃除の活動をする。

宮島町商工会青年部【宮島地域】

調査実施日：平成22年10月4日（月） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 地域貢献として特に力を入れているのは、祭りなどの伝承（伝えていくこと）である。地域の祭りを守っていきこうと、青年部で大松明の作成に取り組んでいる。
- ・ 弥山登山ルートでの掃除を年に2回ぐらいやっていたが、最近では登山者のマナーもよくきれいなので、棧橋付近の清掃活動をやっている。観光客に対してアピールできればと思う。
- ・ 全国商工会青年部主催で一斉に実施した、全国クリーンアップ作戦に参加、宮島支所からごみ袋を提供していただき、集めたごみの収集も支所が行ってくれた。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 活動をしていくうえでは、それぞれ会員が持っている人脈の力が大きい。
- ・ 30歳代と若いということは強みであるが、青年部としてはやることに限られている。
- ・ 会員に限られているので、青年部に入っていない人をどうやって取り込んでいくかということ、島外との連携の必要性を感じている。
- ・ 自分の仕事を持ちながらの活動になるので、なかなか時間が取れない。
- ・ 地域住民からの反応や評価はあり、活動を続けていくうえで励みになる。
- ・ 自分たちの事業所に対する直接的なメリットはないが、地域の活性化が目的である。「思いを形にする」ということを大切にしている。

③実施体制

- ・ 青年部の会合としては、月2回～4回程度、夜に集まることがほとんどで、場所は商工会館を利用、連絡はメールが中心である。
- ・ 新規会員が加わり、だんだんやる気になっていくというように、人の意識が変わっていく様子を見るとやりがいが出る。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 水難事故防止祭を企画中である。青年部の主催で子どもを対象に島外からも呼びかけたい。その中で、干潟観察を行い水族館に寄贈することなどを考えている。
- ・ 行政に対しては、資金面での支援をお願いしたい。決して多額支援ということではなく、事業提案のような制度があればチャレンジしたいと思う。その後の事務処理のフォローがあるとよいと思う

宮島郵便局【宮島地域 郵便事業他】

調査実施日：平成22年10月4日（月） 11：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 敬老会、小・中学校の入学式、卒業式へ来賓として参加、商店街のまつり（氏神祭）にも参加、局長自ら神輿を担いでいる。
- ・ 局周辺の清掃活動に参加している。従業員に強制はしておらず、主体性に任せている。
- ・ 地域の情報発信の場になればと、局のロビーなどのスペースを地域に貸している。現在は子ども神輿を展示している。個人からの依頼や書道教室から展示させてほしいという依頼もある。ロビーの利用については広くお知らせをしているわけではない。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域貢献を積極的にやりたいという気持ちはあるが、局長は島外在住、参加は限られてしまう。（個人的には町内会副会長、地域の防災訓練などに一地域住民として参加しているとのこと）

③実施体制

- ・ 少ない人数でやっているのので、従業員は本務中心、地域のことについては局長が中心となって関わるといって体制でやっている。局長が席を空けることも多くなるが、従業員は仕事の一環であることとして理解している。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地域行事に積極的に参加することで、地域のリーダーさんと顔のつながりができ、コミュニケーションが取りやすくなる。
- ・ この地域にはお年寄りが多いので、若い従業員の力を生かして何か地域に貢献できればと思う。（以

前は配達のとときに安否確認をしていたこともあったが、今は窓口業務のみとのこと)

やまだ屋【宮島地域 和菓子製造・販売】

調査実施日：平成22年10月4日（月） 13：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 宮島学園からキャリアスタートウィーク(※6)の受入れをしている。(1名)
- ・ 氏神祭では、神輿の担ぎ手、機材の貸出などで参加している。
- ・ 商品をつくるにあたり、環境や健康に配慮している。(黒もみじは竹炭(ミネラル)、赤もみじは唐辛子(カプサイシン))
- ・ 地元(広島県)の素材を利用している。(黒もみじの竹炭を広島市から、赤もみじの唐辛子を世羅町から仕入れるなど)
- ・ 高齢者のデイサービスや、学校からなどの工場見学の受入れ(おおのファクトリー)
- ・ 学園祭などのバザーでは、もみじ饅頭販売用として安価に提供している。
- ・ パンフレットなどへの協賛広告
- ・ 食べん祭はつかいちにおけるもみじ饅頭の手焼きの実演や、伝統産業会館のみやじまん工房でもみじ饅頭の手焼きコーナーなどをおして、もみじ饅頭の歴史を知り、商品に親しんでもらう。主に、修学旅行生のほか公民館や子ども会が利用している。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 繁忙期や早朝勤務で活動参加が難しいことがある。
- ・ もみじ饅頭は地域に育てられたものである。

③実施体制

- ・ 食品業としての責務である安心安全な事業所をめざしている。また、地域に愛される会社、地元から応援されたい、という思いで企業活動、地域貢献活動に取り組んでいる。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 今後やってみたいのは、マツダの工場(広島市南区)～オタフクソースの工場(広島市西区)～やまだ屋のように工場見学場所をつなぐような、沿岸部の産業観光を活性化することを考えたい。
- ・ 新しいことに挑戦する姿勢、常に変わっていく組織でありたいと思う。

※6 キャリアスタートウィーク

子どもたちの勤労観、職業観を育てるために、中学校において5日間以上の職場体験を行う学習活動

株式会社中沢商事【吉和地域 食料品などの小売業他】

調査実施日：平成22年10月4日（月） 14：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 自社所有のマイクロバスで買い物支援を実施している。熊崎地区(※7)14～15人、花原地区(※8)6～7人、飯山地区(※9)5～6人、曜日を決めて迎えに行き、店で買い物してもらった後、家まで送っている。
- ・ 販売車を所有しており、湯来、宇佐、筒賀、吉和の熊崎地区へ移動販売を行っている。先代から引

継ぎ、これまで約35年続けている。

- ・ 雪の多い日などは玄関先まで荷物を持っていくこともある。保健師よりも地域のことはよく分かる
と自負しており、安否確認のための電話がかかってくることもある。
- ・ とんどや夏祭りや敬老会など、地域行事への寄附も長年行っている。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域の人にはとても喜ばれている。長年続けているので、地域の人を家族のように思っている。いつものメンバーがバスに乗らない日は、「どうしたのか」と気になる。
- ・ 豆腐一丁しか買ってもらえない日もあり、ガソリン代などの経費を考えたら割に合わないが、押し売りはこれまで一切したことはない。次に行ったときには必ず何か買ってくれる。
- ・ 休もうとか、やめようと思ったことは一度もない。仕事をさせてもらえていることへの感謝の気持ち。

③実施体制

- ・ 職員10人の中の3名が交代で販売支援（送迎及び配達）及び販売車の運行を実施している。

④成果と展望、行政に望むことなど

- ・ これから、高齢化も進み、人口も減る。行政には人が集まるようなことや、困っている人を助けてもらうようなことを期待したい。

※7 熊崎地区（吉和地域）

人口：44 世帯数：25

※8 花原地区（吉和地域）

（花原上）人口：9 世帯数：5

（花原下）人口：78 世帯数：42

※9 飯山地区（佐伯地域）

人口：18 世帯数：13

梶広建設株式会社【吉和地域 建設業、一般土木建築工事業】

調査実施日：平成22年10月4日（月） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 大とんど、神楽、地域の祭り前に実施する缶やごみ拾いなど、地域の行事にはすべて関わっている。
- ・ 大とんどでは自社のトラックを貸し出し運転手が地域に協力、とんどに使う竹を佐伯地域浅原地区から運んだり、神楽の舞台を大工がセットしたりしている。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 関わっていない人をいかに引っ張り込むかが課題。人口が減っているとはいえ、若い人はわりといる。こうした若い人たちが地域の活動に関わるきっかけをつくるのが自分たちの役割だと思っている。この地域に住んでいる以上は何かはやらないと、と思っている。
- ・ 顔が見える関係にあり、自然に世代間の交流をしている。お互いの年齢を感じずに楽しくできる関係がある。
- ・ 地域活動に参加してみんなに喜んでもらい、反省会をしてまた次へつなげる、というこのサイクルが、これまでつながってきた秘訣。
- ・ 地域づくりは一人ではできない。若い人たちと一緒にやることで地域の人材育成にもつながっていると思う。

③実施体制

- ・ 従業員27名、必要に応じて関わる。
- ・ 自社所有のトラックや職人の持つ技術などの強みを、地域活動に積極的に生かしている。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 行政に対しては、例えばひまわりの植ええなど、補助金をカットするのはかまわないが、その分、市の職員を参加させるといった人的支援に力を入れるなど、工夫がほしい。
- ・ 今後は、魅惑の里の入り口から奥にかけて、マイロード認定の申請を予定している。(仕事上、機械などに付いた土などで道路を汚しているの)

クヴェーレ吉和【吉和地域 サービス業（温泉、スキー場など）】

調査実施日：平成22年10月5日（火） 14：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ スキー場を小・中学生のクラブ活動に無料開放している。スキーのレベルも上がり、国体選手も輩出された。
- ・ スキー場のシーズンオフには従業員、パート、アルバイト全員で、地域内の掃除を実施している。
- ・ 熊崎地区の年2回の地域内清掃に従業員が参加している。
- ・ 神社に寄附、吉和福祉センターに絵を寄贈した。
- ・ キャリアスタートウィークの受入れを実施している。
- ・ コミュニティよしわ(※10)からの依頼で、敬老会の送迎を運転手つきで行っている。(実費分のみをもらう)

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域の発展に貢献したい。まずはどうしたらこの吉和地域に来てもらえるか、来やすいのか考え、また、吉和地域に住んでいる人にも来てもらいたいという思いがある。
- ・ 効率的に企業活動、地域貢献活動をしたいが、それに関わる人材の確保など、社内での体制が課題。今までできていたことができなくなった、というようなことにはしたくない。

③実施体制

- ・ 本業もあるので、地域活動に関わることができる従業員は限定されている。実はもっと地域と関わりたいと思っている従業員もいるかも知れない。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 従業員みんなであいさつができるような、顔が見える関係づくりを進めたい。お客さんにも親しみを持っていただけるよう、スキー場は若い子を担当にしている。
- ・ 市の観光施策について一体感がないと感じている。宮島に訪れた人を吉和につなぐようなことを期待している。

※10 コミュニティよしわ

地域外との連携も深めながら、「吉和」の特長を活かしたまちづくりに寄与することを目的としたコミュニティ推進団体。平成19年5月設立。

県立もみのき森林公園【吉和地域 公園管理・地域活性化事業実施他】

調査実施日：平成22年10月5日（火） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 夏休みや冬休みを中心に小学生を対象とした魚のつかみ取り、野菜のもぎとりなどさまざまな地域の産業を生かしたイベントを実施している。
- ・ 地域内一斉清掃に従業員が参加している。
- ・ 阿品の森サポータークラブ(※11)、ひろしま緑づくりインフォメーションセンター(※12)など、NPOとの連携したイベントの実施を行っている。(自分自身も「エコロジー研究会ひろしま」(※13)という団体に所属)
- ・ 敬老会の送迎や中学校の遠足の送迎で、所有しているバスを無料貸出している。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ きれいごとでボランティアはできない。本業もある。どうやって関わる人を増やしていくかが課題。
- ・ 地域貢献について、どうやって広報していくか。
- ・ バスを無料貸し出しすることなどは、民間業者を圧迫することになるので個人的には反対だが、地域内の他の事業所と歩調を合わせる必要もある。

③実施体制

- ・ 地域との連携は大事だが、本業もあるので土、日の行事には参加できない。従業員は3名しかいないので、活動に参加したくてもできないときもある。
- ・ 地域貢献活動について、業務に関係していると思うものは出張扱いにし、そのほかは有休で、というように従業員の判断で活動している。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 大学との連携に着手したい。大学のボランティアサークル同士でネットワークをつくらうとしているという情報を聞いているので、行政サイドからの情報提供と指導をお願いしたい。
- ・ 廿日市市として宮島を核とした海のボランティア、吉和を核とした山のボランティア、太田川を核とした川のボランティアなどとの連携を今後考える必要がある。(山、川、海のネットワークづくり)

※11 阿品の森サポータークラブ

廿日市市民に親しまれる里山づくりを目指して活動しているボランティアグループ

※12 ひろしま緑づくりインフォメーションセンター

県内において、緑や森林づくりに関わる環境保全活動に従事する団体の情報ネットワーク組織

※13 エコロジー研究会

大田川の上流、中流、下流域の交流を通じて自然の大切さを学び、次の世代に手渡す努力を行っている団体

株式会社 竹内【大野地域 給排水工事業他】

調査実施日：平成22年10月6日（水） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 寄附、花代を求められたり、自社の機材を用い地域活動に参加したりすることがある。
- ・ 経営者が当地区在住、経営者であるという以前に地域住民であることから、区の施設清掃に機材を貸し出し、従業員が参加したこともある。

- ・ 漏水対応のため、当番店でなくても社内で順番に待機する者を決めている。生活の安心安全面でも貢献している。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 特に経営者は地域との関わりを大切にしている。地域の会合や行事にはすべて参加しないとイケない、という考え方である。
- ・ 従業員の年齢層が50～60歳代と、20～30歳代が多く、中間層がない。世代間のギャップがあり、ひと昔まえなら理解できたことでも、今では難しいということもある。

③実施体制

- ・ 「仕事でもないのに、なぜこんなことをしなくては…」という従業員の不満は確かにあるが、指示されればきちんと取り組む。地域との関わりをなくしてしまえば、本業も成り立たないという認識はある。

④展望、行政に望むことなど（※アンケートから抜粋）

- ・ 地域に貢献することによる優遇制度などを検討されたい。金額などだけで選ばないでほしい。（例えば減税、補助金など。また常日頃の緊急対応、メンテナンス管理を考慮していただき、地元業者優遇）
- ・ 本業が安定であつてのことではあるが、地域とのバランスをとりながら関わっていききたい。

おきな堂【大野地域 和菓子製造・販売】

調査実施日：平成22年10月6日（水） 11：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 「デカもみじ」(※14)づくりに、宮島口の近隣3店舗で連携して、地域おこしの一環で取り組んだ。
- ・ 宮島口アート化事業に宮島工業高校と連携して取り組んでいる。7年前にお砂焼き祭りの看板を作ってもらい、宮島口駅に設置したことから始まり、地下道が暗く、若者がたむろするなど、これではいけないということで2年前から作品を展示することを始めた。宮工も授業を通じて地域との関わりを大事にしたいという趣旨のようで、商店街としてもあるとよいと思うものが安価ででき、双方にメリットがあるので続けていきたい。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ お砂焼きまつりも、今年で9回目の実施となる。生まれ育った地を大切に思い、宮島、宮島口の活性化させるような活動を広げたいと思っているが、なかなか広がらない。

③実施体制

- ・ 従業員には宮島のことをもっと知ってもらいたいと思い、その日にある行事などの説明をしたり、説明文を配ったりしている。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 合併前は施策があれこれと変わり、方向性が定まらなかったが、合併してからずいぶんよくなった。宮島口地区の活性化事業に対して、行政には感謝しているので、積極的に参加して、地域を活性化したいと思っている。

※14 デカもみじ

みせん本舗、おきな堂、真和の各店主を中心に、宮島口への呼び水としてつくった新名物。普通サイズのもみじまんじゅうの約2.2倍の大きさ。

藤い屋【宮島地域 和菓子製造・販売】

調査実施日：平成22年10月8日（金） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 宮島観光協会が主催する清掃活動、海の一斉清掃、花火大会の後の清掃に参加している。
- ・ 企業として松明を出すところは年々減っているなか、松明づくりを50年続けている。松明の作成から携わり、大晦日の鎮火祭に参加している。
- ・ 宮島学園からキャリアスタートウィークを受け入れている。
- ・ 夕方には店を閉めるところが多い中、18時頃までは店を開けるようにしている。お客様合わせが基本。

②課題・悩み、日頃感じていることなど

- ・ 島外からの活動者が多いことについて、非常にありがたいと思っている。
- ・ 厳島神社があるからこそ商売が成り立っていると思う。

③実施体制

- ・ 従業員はほとんど島外在住だが、宮島地域のことや、地域との関わりに対する理解はある。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 宮島地域にとっての厳島神社は観光のためではなく、信仰として存在している。企業として、神社に何が貢献できるかを常に考えており、今後もそれは変わらない。

中本造林株式会社【佐伯地域 林業・製造業】

調査実施日：平成22年10月8日（金） 14：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 地域の消防団員の加入について支援している。栗栖工場、友田工場で約70名の社員のうち、約10名の消防団員がいる。火災があると勤務時間中でも出動するので、そのときは工場が止まってしまうというリスクはある。
- ・ 「廿日市漁民の森づくり」では、会場として自社を開放、駐車場、トイレなどを使っていたいでいる。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 近隣町内会（栗栖区）とのつながりが持てていない。以前、地区の祭りとイベントが重なり、トラブルになったことがある。
- ・ 小学生にもっと自然に触れる機会があるとよいと思い、津田小学校に話をもちかけたことがあるが、実現に至っていない。

③実施体制

- ・ 従業員にも手伝ってもらっている。給料の中でやっている（仕事として行う）ので、安心して手伝ってもらえる。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 民間が頑張ったところで限界がある。やはり官民が一緒になって取組み、主体となるのはどこがよいのかを強みや状況に合わせて決めていくことが大切だと思う。

佐伯商工会【佐伯地域】

調査実施日：平成22年10月8日（金） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ キャリアスタートウィークの受け入れ先を紹介している。
- ・ 水まつり実行委員会の事務局を担う。これが会員同士の日々のネットワークにも活かされている。
- ・ 全国クリーンアップ作戦に青年部が参加。
- ・ 吉和地域ではスタッフとしても参加する。
- ・ 現在、県の商工会連合会の事業で広島工業大学との共同研究に手を挙げ、学生による津田商店街のミニ診断を実施中である。今年度中に診断結果と、今後の方向性を出すことになっており、この結果を市にも情報提供したい。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 街路灯を商店街が設置し、商工会の会員が管理組合をつくっているが十分な維持管理ができず負担となっている。水がたまったり、点灯したままのものもあるが、修理できるほどの予算がない。玖島地区ではコミュニティが引き取ろうかという話が出ているらしい。
- ・ 跡継ぎもいないなど会員も少なくなり、商工会の部会単位では事業実施が困難となっている。青年部もOBに関わってもらっている。

③実施体制

- ・ 組織体制は役員22名（会長1名・副会長2名・専務理事1名・理事16名・監事2名）、事務局職員7名（事務局長1名・主任2名・主任主事2名・臨時職員2名）、理事会及び総代会により各事項について協議・決定し、運営している。
- ・ 水まつりの実施にあたっては実行委員会による運営で、商工会の青年部長が実行委員長、事務局は商工会の体制で運営している。
- ・ 事業実施については、それぞれ役割分担をしているが、主に会長、副会長、専務理事の三役会と事務局長、主任が中心となり事業の実施にあっている。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 対処療法のような取組みではなく、10年先を見据えた取組みを進める必要がある。まずはリーダー育成。行政にも関わってもらいたい。

株式会社広島銀行廿日市支店【廿日市地域 金融業】

調査実施日：平成22年10月12日（火） 11：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 「地域社会への密着と貢献」を基本理念に掲げている。この理念に基づき、市、商工会議所が情報提供できる専用の掲示スペースを設け、地域への情報発信・提供の場を持つ店舗として、店舗政策の構造段階から位置付けてきた。
- ・ 店舗オープン1周年のときに、“お客様への感謝の気持ちをこめて”をテーマに、地元廿日市をよく知ってもらうため、市や商工会議所の支援をいただき、「廿日市市の特産品展示」と、「廿日市市の郷土史パネル展」を開催した。
- ・ 6月には宮島観光協会と連携して「黒澤明生誕100年展」をプレ開催した。
- ・ トライアスロンの開催を支援するため、支援自動販売機の積極的な設置協力、開催当日のボランティア

ィアとして40名を超える従業員が参加した。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 一日の来店客数が平均2千人、ピークで5千人を超える立地にあり、廿日市地区では有数の集客ポイントとなっている。
- ・ 宮島という資源の重要さを感じている。この魅力ある観光資源をもっと活用すべく、地域との連携も深めるなかで「ひろぎん」としてできることを工夫したい。
- ・ 地域の活性化には地元企業をもっともっと元気になることが欠かせない。

③実施体制

- ・ 地域の活性化という取り組みも“リーダーの強い思い”が大切。押し付けになってはいけませんが、リーダーがきっかけを作ってやることも必要だと思っている。
- ・ 特産品の展示などを例にとっても、リーダーがきっかけをつくることで、従業員が自ら工夫して取り組むようになり、こうした成功体験がさらなる地域貢献へという思いへ発展していくと感じている。
- ・ 広島銀行全体の取組みとしては、「社会貢献手帳」というカードを配布して、地域清掃でも何でもよいので、個人が地域のボランティア活動へ自主的に参画できる風土を醸成している。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地域がひとつのことに一枚岩で取り組んでいくというのは、地域差、行政の縦割など、いろいろな利害も絡んで、とても難しいことだと改めて感じる。しかし、さまざまな障害を乗り越えて官民一体となって進めていければ、とても素晴らしいことだと思う。
- ・ 「宮島」のような資源を市全体で上手に活用していけるといったように、地域が盛り上がっていけば、廿日市市はもっと魅力ある地域になると思う。そのためには、これまで以上に広島県との連携・協調も必要になる。広島銀行としてできること(※15)を、もっと考えていきたい。

※15 広島銀行としてできること

広島市においては、広島市民の自主的なまちづくり活動を支援して、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを進めるための仕組みづくりとして、公益信託（委託者が財産を一定の公益目的のために信託し、受託者がその財産を管理・運用しながら公益目的の実現を図っていく）による基金を設立。財団法人ひと・まちネットワーク（URL：<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/jimukyoku/>）が委託者となり、広島市からの補助金（約1億266万円）を広島銀行に信託、平成15年（2003年）3月にスタートしている。

中国電力株式会社 廿日市営業所【廿日市地域 電気業】

調査実施日：平成22年10月12日（火） 13：30～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 年1回、街灯の清掃活動を実施、近隣町内会の地域内一斉清掃に参加、毎週水曜日には会社周辺の清掃（ごみ集めなど）を実施している。（業務時間外に10～15分程度）
- ・ 中学生の職場体験学習受入れや、電気に親しみながら理解してもらうというねらいで地域内の小学校への出前授業などを実施している。
- ・ 養護施設の児童との交流で、八幡学園、津田子供の家、光の園に年に1回訪問し、親睦を深めている（ストラックアウトや屋内で遊べるもの）。心豊かな地域づくりに積極的に貢献している。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 子どもたちとの関わりが多い。中電が何をしているか分からないので、会社のことを知ってもらいたいと思い、まずは電気のことを分かりやすく伝える、ということを中心にしている。

- ・ 「地域に貢献する」というのが経営理念にあり、以前は各営業所に広報業務を担当する課があったが、平成18年度に組織再編があり、広報業務が総括営業所に統合された。
- ・ 地域と関わりを持ちたくても、地域の代表者も分からず、だれに（どこに）相談に行ったらいいか分からない。自社でやっているIH体験教室などを公民館や市民センターでやってはどうかと思い、相談にいったが、営利目的でなくても一般企業が使用することはできないと言われた。

③実施体制

- ・ ライフサポート休暇制度、社内での表彰制度がある。
- ・ 地域との関わりをもった取組みについて、従業員も業務の一環として理解している。本業もあり大変だが、仕事としての認識がある。
- ・ 全社社内報や地域情報誌があるので、営業課が行う地域貢献活動の紹介は可能である。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 今後は、IH体験教室や省エネ講座などが各市民センターで開催できればと思っている。

安田金属株式会社【廿日市地域 製鋼原料などの加工・販売、廃棄物収集運搬・処理業他】

調査実施日：平成22年10月12日（火） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 新聞、雑誌の地区町内会連合会による集団回収を実施している。地区町内会連合会では、その収入を防災のための取組み資金として積み立てるなど、さまざまな活動に充てているようである。
- ・ 町内会で使用する回覧板を作成し、無償で配布した。
- ・ キャリアスタートウィークの受入れを実施している。
- ・ 会社見学の受入れをしている。例としては、木工組合、教職員組合など、異業種が多い。その他、主に市内の小・中学校から。
- ・ 広島県産業廃棄物協会が主催する不法投棄された廃棄物の撤去活動に従業員10名がボランティアとして参加した。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域貢献活動に対して、会社側からの強い提案はない。求められるところから、できるところからやっている。
- ・ 住宅地での活動から始まり、地域に迷惑をかけてきたので、地域に対しておかせしをしたいという気持ち。こちらが思っているより地域からの期待は大きいようであるが、リサイクル業を理解してもらえやすい機会となっていると思う。自社宣伝というつもりはない。
- ・ 悩みは、活動のスタート時。定着するまでに時間がかかる。
- ・ 佐伯区五日市に「エコパーク」をオープンした。新聞、雑誌、本、ダンボール、アルミ缶の回収を行い、重量に応じてポイント加算、ポイントごとに商品券や食事券と交換する。企業活動そのものが地域貢献につながっていると思うが、廿日市市で取り組むことについては、行政側のバックアップが弱く、躊躇してしまう感がある。

③実施体制

- ・ 従業員に対しては、月1回社員訓示を行い、リサイクルを通じて、地域社会・地域環境に貢献する（経営理念）について話をする機会を設けている。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 商工会議所内での交流会は年1回あるが、もっと異業種間（特に商店、製造業など）とのネットワ

- ークづくりや情報共有できる場があるとよい。この「場づくり」を行政にお願いしたい。
- ・ 相談窓口や、取りまとめをしてしてくれるところなど、行政の窓口が一つだと助かる。

三共ポリエチレン株式会社【廿日市地域 ポリエチレン、各種ラミネート製品製造・販売】

調査実施日：平成22年10月13日（水） 11：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ インターンシップ受入れや工場見学受入れを行っている。
- ・ イベントへの寄附、具体的には、町内会のお祭りにポリ袋を提供している。
- ・ 町内会の清掃活動に従業員が参加している。（毎月20日、7時45分から15分程度）

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 地域貢献するにあたっての悩みといっても、ほとんどの対応ができており、よっぽどのことでないかぎり悩みというのではない。
- ・ こちら側から発案して積極的にということではなく、地域の状況に応じてやっている。
- ・ 住宅地の中にある製造業社であり、近隣住民との協調が第一である。騒音やTVの写りが悪いなどといった苦情もあるが、とにかくすぐに対応するようにしている。

③実施体制

- ・ 従業員は廿日市市内在住が多い。各自でそれぞれ在住地域の活動に参加している。（※アンケートでは従業員数は広島関係で約160名との回答）

④展望、行政に望むことなど

- ・ 今後、自発的に取り組むということはおそらくないが、市や地域が実施する大きなイベントや、声をかけられるものについては関わっていききたい。
- ・ 行政には情報提供をしてもらおうとよい。地域の情報があれば、社内に掲示している。

株式会社中電工 廿日市営業所【廿日市地域 電気設備工事他】

調査実施日：平成22年10月13日（水） 13：30～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 毎年11月初旬（今年度は11月8日から10日間）、「おかげさま旬間」といって、地域やお客様への感謝の気持ちをこめて、全店で奉仕活動を実施している。今年度は業務課が実施した。
- ・ これまでの廿日市営業所の取組みとしては、ひかり園の施設内の電球の取替え（無料交換）と清掃、宮内串戸駅周辺の清掃、特に街路灯を自社の高所作業車を使って掃除している。
- ・ 祭りへの寄附など、地域から求められれば拒まない。
- ・ 中国電力が実施する清掃活動、広島市が実施する「ゴミゼロクリーンウォーク」(※16)に従業員が参加した。
- ・ 大学生のインターンシップ(※17)について、本社が受入れをして、廿日市営業所で就業体験を行った。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 公園などの公共的なところが一番取り組みにくい。行政が地域や民間に委託をしていることがほとんどである。かといって、それ以外（民地）でとなると、自社との信頼関係ができていて初めてでき

ることなので、結局は得意先をまわることになってしまう。

- ・ 街灯清掃を地域貢献活動としてこちらはやっているつもりでも、中電工の機械を使って、中電工の作業着を着てやっているの、傍目から見れば当然仕事をしているというようにしか見えない。

③実施体制

- ・ いずれの参加も10名程度、業務時間のなかで実施している。
- ・ 従業員に対しては、ボランティア休暇制度があるが、取得された実績はない。こうした活動について、従業員の理解はある。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 入札参加資格審査における加点制度、貢献ポイント制度などがあるとよい。
- ・ 今後も、企業の強みを生かした取組みがよいと思っている。高所作業車を使って、簡単にはできない街灯の掃除などで貢献していけたらと思う。
- ・ 地域、特に田舎の方などは、例えば民生委員と一緒にいくなどという工夫が必要だと思っている。
- ・ 「こんな内容でボランティアを募集している」という情報があれば知らせてもらいたい。

※16 ゴミゼロクリーンウォーク

広島市主催、市内11箇所から20コースに分かれて、歩道や川岸に落ちているごみを拾って歩く。

※17 インターンシップ

学生が一定期間企業などで研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う。

フマキラー株式会社 広島工場【大野地域 殺虫剤などの製造・販売】

調査実施日：平成22年10月14日（木） 14：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 廿日市市への貢献で言えば、アルゼンチンアリ対策として、市役所の担当課と一緒にセミナーや説明会を開催している。企業活動そのものが役に立つことなので、こうした活動には積極的に協力している。
- ・ 小・中学校の職場体験や工場見学の受入れも実施している。
- ・ 本社の主催では、「フマキッズこども研究所」という、全国から募集した子どもの参加による野外活動などを実施している。夏休みの自由研究などのお手伝いになればと思う。
- ・ パートの方は、廿日市市内（特に大野地域）の方が多く、結果としてはあるが雇用に貢献しているということになる。宮工からも採用もしている。

②課題・悩み、日頃感じていることなど

- ・ 殺虫剤など自社商品を使っていただくこと、企業活動がすでに貢献である。海外では、伝染病予防などにも役立っており、人の命を守る。
- ・ 安全性にこだわって商品開発をしており、天然成分を使ったものや、最近では薬品を使わず、冷気で駆除する凍結タイプのものも開発している。

③実施体制

- ・ 昭和50年代には社内保育園などもあったが、現在はもうやっていない。
- ・ 社は社訓はすべての従業員やパートタイマー（正社員150名、それ以外100名）の目に触れるよう、各部署に掲げている。
- ・ 社員行動規範を全社員に配布し、常時携帯することによって、フマキラー社員としての自覚ある行

動を行うよう指導している。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地域貢献活動については、会社の方針の下、自然な流れの中（意識することなく）で、状況に応じてやっていくつもりである。今のところ困ることは思い当たらない。

株式会社A&C【大野地域 飲食業・宅地建物取引業】

調査実施日：平成22年10月15日（金） 15：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 地域の祭りへの寄附、お砂焼きまつりで食事券を提供するなど、大きなイベントへ参加している。
- ・ わたや各店舗でのこどもかけこみ110番、キャリアスタートウィークの受け入れも実施している。
- ・ 7区で昨年、「社めぐりスタンプラリー」を開催、スタンプ置き場とトイレ場所として自社のスペース（敷地内の一部）を提供した。
- ・ わたやではアントチーズ、クロダイ（チヌ）のお茶漬け、三女神（厳島神社に祀られている三人の女神）にちなんだ商品（メニュー）を販売するなど、廿日市市の地域資源の活用に心がけている。こうしたことが、廿日市市を知ってもらうことにつながると思う。

②課題・悩み、日頃感じていることなど

- ・ 会長は常議員、専務が商工会青年部に所属しており、積極的に取り組む。
- ・ できるだけ地域に協力したいと思っはいるが、地域に受け入れられ、愛されないとその気持ちも伝わらないものである。店舗の立地場所により地域への関わり方や取り組み方は様々だが、この大野地域は地域性があり、関わりやすいところである。
- ・ 商工会が近くにあり、常に連絡が取れ、情報が入るので安心である。

③実施体制

- ・ 地域内や店舗付近の清掃活動も参加するように意識はしている。
- ・ ボランティア制度のようなものは特にない。
- ・ アルバイトやパートは廿日市市内（大野地域）の方が多い。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地域活性化のためのセミナーや講演会、地域貢献に関する学習会など、それぞれの取り組みのレベルに合わせた学ぶ機会を提供してもらいたいと思う。

広島信用金庫宮島口支店【大野地域 金融業】

調査実施日：平成22年10月15日（金） 16：30～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 春と秋に交通安全の街頭指導（見守り活動）を全店で実施している。
- ・ 宮島の氏神祭、あじさいまつり、宮浜温泉まつりのスタッフとして参加、また、お砂焼きまつりでは渉外担当が実行委員会メンバーとして、企画の段階から関わり、準備から後片づけまでやっている。
- ・ 店舗内では、地域の方へのスペース（掲示板、空きルームなど）の貸出を行うところもある。

②日頃感じていること、課題・悩みなど

- ・ 経営理念の一つである「存在意義」の「地域と共に豊かな未来を創る」を念頭に、旧宮島信用金庫時代からお客様や地域との関係を引き継いでいる。よい意味での地域とのつながりを大切にしている。
- ・ こちらから（企業側から）積極的に何か、というのはどこもないのではないと思う。地域からの発意でないと盛り上がっていかない。
- ・ 得意先からの協力依頼もある。直接ビジネスにはつながっていないが、こうした地域の方とのコミュニケーションを通して、従業員のことや信用金庫のことを知ってもらうことが大切である。打ち上げにも参加したりして楽しみながらやっている。
- ・ 特に大野地域では、商工会の力、高い意識や意欲、商工会青年部の協力があり、「地域に関わる」という風土がある。
- ・ ただ、地域と密接に関わっているからこそ、コンプライアンスと地域貢献の境をしっかりと見極める必要がある。馴れ合いになってはいけない。

③実施体制

- ・ ボランティア休暇、表彰制度あり。
- ・ ボランティア活動記録シートというのがあり、従業員としてだけでなく、自分の地域の活動に参加したのも記録できるようなものになっている。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 企業の地域貢献について、行政側の積極性も必要では。ビジョンを示してもらえれば、協力する。

公和物産株式会社【大野地域 小売業・飲食業他】

調査実施日：平成22年10月19日（火） 10：00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 大野第2区で行われている地域内一斉清掃に参加、地区運動会プログラムへの広告協賛、子どもみこしへの協賛、区行事への賞品提供をするほか、地区の憩いの場として、敷地内の遊歩道を利用している。
- ・ トライアスロン、桜まつり、大野カキフェスティバルへの広告協賛、お砂焼きまつりへの協力をしている。
- ・ 廿日市市立の学校が授業やクラブ活動で美術館を利用するときには入館料を無料、市民センターや、市民センターのクラブ登録をしている団体が事業などで利用する場合は入館料を半額にするなど配慮している。
- ・ レストランでは安全（無添加・無農薬）な食材や地元産の食材を利用している。（大野産のカキ・アサリ・ムール貝、広島牛）
- ・ 美術館運営は「文化」ということをテーマにした地元への貢献として位置付けている。
- ・ 地元喜んでもらいたいという思いから、平和という人類の夢を芸術文化の継承を通して後押しするというねらいで「杜のフェスティバル」を開催してきた。

②課題・悩み、日頃感じていることなど

- ・ 地域とのふれあいを大切にするという、経営者の思いを代々受け継いでいる。
- ・ 若い社員が参加することで、地域の方には喜んでいただいている。
- ・ 宗教法人ということで、地域からの誤解がある。
- ・ 文化施設があるという認知度が低い。

③実施体制

- ・ ボランティアの募集を、社内メールや部門長会議で発信している。
- ・ 地区清掃活動には勤務時間内の参加がほとんどである。(正職員を中心に約 20 名)
- ・ 中山地区の地域活動にも参加している従業員は多い。地域との関わりを通じて、業務に対する意欲の向上が見られる。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 地域貢献活動をしようとするときの、市の窓口が見えるとよい。
- ・ 地域や他の団体など、他の主体への橋渡し役(つなぎ)を期待したい。
- ・ 環境の保全活動への取り組み(山の手入れ)に取組みたい。
- ・ 美術ギャラリー、ウッドワン美術館との連携など、美術館を通じた文化の振興を進めていきたい。
- ・ 市民参加型の催しなどを地域が一体となって進めていけるようになるとよいと思う。

宮島漁業協同組合【宮島地域】

調査実施日：平成22年10月19日(火) 13:00～

①実施している地域貢献活動について

- ・ 年3回、全組合員による清掃活動を実施している。(うち1回は海底清掃)
- ・ 毎月1回は事務員(2、3人)による海岸清掃活動を実施した。
- ・ キャリアスタートウィークの受入れを実施している。
- ・ 宮島水中花火大会など海の使用、また、イベントへの警備艇派遣などで協力している。

②課題・悩み、日頃感じていることなど

- ・ 清掃活動など貢献活動そのものに対する理解はある。(自分たちが出したゴミでもある)
- ・ 青年部では他の漁協の青年部同士で勉強会を開催している。
- ・ 企画・提案した事業を試験的に取り組むための場(会場、施設など)がない。
- ・ ゴミの大半は対岸の川からのもの、という理不尽さは感じている。

③実施体制

- ・ 組合員約30名で、海を職場とするものとして当然のこととして活動している。

④展望、行政に望むことなど

- ・ 漁業(カキなど)の理解を深めるための体験の場づくりを進めたい。(体験施設の整備や市民センターの利用など)
- ・ 事業実施による収益金を組合員の活動参加に伴う負担の軽減に役立てるようなことを考えたい。
- ・ 海に親んでもらえるような体験活動の場を提供していきたい。

★ 廿日市市内における企業の地域貢献活動の主な特徴と傾向

今回調査対象とした企業などが行っている地域貢献活動は、地域への寄附や自社製品の提供、清掃活動、自社スペースの提供などといった一般的な活動のほか、地域の活性化を願う取り組み、自社の保有するノウハウを生かした取り組みなどさまざまであった。

このような地域貢献活動は、それぞれの企業などの規模、企業などが立地している地域の状況に合わせて行われている。

アンケート、聞き取り調査を通して、いずれの企業なども地域貢献活動に取り組むことについては肯定的に考えており、廿日市市民として、地域に根ざして企業活動を営むうえでは欠かせないものであるという認識が根底にあるものと推察する。地域の活性化なくして、企業などの利益、発展はありえないと、地域に密着し、その関係性を高めながら地域貢献活動に取り組んでいる傾向も伺えた。

一定規模以上の企業などについては、地域貢献について経営理念に掲げ、専門部署を持つなど、全社的な方針を持って活動を展開している。こうした企業などでは、ボランティア休暇制度など、従業員が積極的にボランティア活動に参加できる環境も整備されており、これらは、企業の地域貢献という考え方が浸透するにつれて、多くの企業などに広がっていくことを期待したい。

★ 廿日市市内における企業と地域（地縁組織もしくはNPO）との関係

企業などが地域貢献活動を行う際のパートナーは地元の地縁組織が多く、そのため、活動のフィールドも地区、町内会・自治会などの範囲が多くなっている。具体的には、企業などが立地している近隣の町内会が実施する清掃活動への参加、その地区で開催されるイベントへの参加や寄附などが多くみられた。企業などがその地で企業活動を営んでいくうえでは、町内会・自治会などは最も身近なステークホルダーでもあり、地域貢献活動を通して関わることで、よりよいパートナーシップが構築されていき、企業活動にも好影響をもたらすことにつながるの考えも伺えた。

中山間部（佐伯地域、吉和地域）、島しょ部（宮島地域）になるほど、地域とのつながりは深い。一企業として地域に関わることはもちろん、経営者や従業員個人としても積極的に関わりを持つ意識があることが伺えた。

NPOと連携した地域貢献活動の実績は少なかったが、こうした中でも、「広島西部ロハスの会」が発足した経緯（P11）や、県立もみのき森林公園のNPOと連携した事業実施（P17）など、企業などとNPOの新たなパートナーシップが芽生えつつある状況が伺えた。

経営者個人がNPOの立ち上げに関わり、その役員や会員になるという事例も見られ、これは経営者が持つ経済人としてのノウハウや知識を地域づくりに生かすというよい事例である。

★ 廿日市市内における企業の地域貢献活動を行ううえでの課題

今回調査対象とした企業などの多くが、活動にかかる人材の確保に苦慮していることや本業とボランティア活動の切り分けが困難であること、また、地域貢献活動の情報発信、収集する力が弱いといったことなど、地域貢献活動を持続可能なものとするうえでの課題を抱えていることが伺えた。

さらには、地域へのチャンネルがない企業なども多く、活動のニーズ把握や、取り組みのきっかけをつかむことが難しいことや、活動のフィールドである地区や地域の状況やリーダーの考え方にも左右されていることがわかった。

このような状況を放置しておくことは、企業側の活動範囲だけでなく、地域における活動の広がりや、課題解決の可能性をも狭めていることにもつながるものと考えられる。

地域と企業の連携は、企業側の一方的な意識改革や資源提供だけで実現されるものではない。町内会、自治会やコミュニティ推進団体においても、区域内の企業などを会員として規約に位置付けている組織もあるが、形骸化している状況が見受けられる。地域側も企業などが「地域づくりのパートナー」と成り得ることを改めて認識し、積極的に受け入れる姿勢が必要である。

また、行政も企業などの地域貢献活動のきっかけを、タイミングよく地域に創りだしていくことが必要であると改めて感じた。

★ 市民活動センターに求められる今後の取り組み

市民活動センターは、市民活動の活発な市民主体の豊かで活力ある地域社会の実現をめざし、幅広い市民参加による協働のまちづくりを積極的に推進するため、市民活動団体相互、市民活動団体と行政をつなぐ中間支援を行うことを目的として、平成 18 年 4 月 1 日に設置した。複数の団体で構成する廿日市市民活動センター運営協議会が運営する「公設市民運営」の施設である。

平成 22 年（2010 年）、自治振興部内の職員で構成する地域づくり連携会議での議論から導き出した市民活動センターの役割は、地区コミュニティ推進団体だけでなく、まちづくりのパートナーとして期待している NPO、企業、大学などの多様な主体の公益活動を促進するとともに、こうした多様な主体が持つ知恵とエネルギーを、地区コミュニティ活動につなぐなど、まちづくりの好循環を創り出すことである。

このことについては、現在策定中の（仮称）まちづくり基本条例の検討市民委員会の議論の中でも同様の趣旨の方向性が確認されており、私たち職員の仮説が実証されたと思っている。

今回の調査における考察も踏まえ、多様な主体との協働によるまちづくりを加速させるために、市民活動センターは次に挙げる取り組みを重点として、その機能を高めるものとする。

【ネットワーク機能】

各分野で活躍する市民活動団体やコミュニティ推進団体との交流の機会や、活動のマッチングの場を積極的に設定し、多様な主体の自律的なネットワークづくりを可能とする。

また、こうした市民活動団体相互の交流の場に、地域貢献をしている企業などの参加を促し、地域と企業をつなげることで、いわゆる 3ギレ（人ギレ、ネタギレ、息ギレ）と呼ばれる地域が抱える課題の解決につながるようなまちづくりの好循環を創り出す。

(具体的取り組み)

- ・ 「市民活動センターネットワーク登録団体交流会」の開催（平成22年11月13日に第1回を開催）
- ・ 市民活動ネットワーク登録団体の情報に加え、企業などが行う地域貢献活動情報のデータベース化

【相談機能】

企業などが取り組みたいと思う地域貢献活動に関する相談に応じ、センター来訪者の相談と企業などの地域貢献活動のマッチングを意識的に試みる。

また、そのために必要とされる市民活動センタースタッフの専門知識の習得など、意識と能力の向上に努める。

(具体的取り組み)

- ・ 市民活動相談ネットワークの機能強化、企業などへの参加要請
- ・ （仮称）企業など社会貢献活動研究会（スタッフによる学習会）の発足

【情報収集・提供機能】

企業などの地域貢献活動の取り組み状況、活動事例の情報はもちろんのこと、分野や領域を超えて、目的に応じた情報を広く収集するとともに、マンスリーDVDや機関紙など、市民活動センターでしか持ち得ない媒体により、タイミングよく情報発信する。

(具体的取り組み)

- ・ マンスリーDVDの制作、普及・活用
- ・ 活動事例や事業報告の掲載、助成金情報の提供など、市民活動センターHPの充実

IV おわりに

今回の調査を終えて、改めて廿日市市は市域が広く、都市部、中山間地域、島しょ部とそれぞれ、特徴的な地域貢献活動が多く企業などにより行われていることが伺えた。

アンケートのほか、少数ではあるが、活動の実態を直接対話によって調査するという初めての試みは、企業人としてだけでなく、市民として地域に何か貢献したいという「志」を持つ経営者や幹部、従業員の方々と面談することができ、多くの収穫があったと思っている。

廿日市商工会議所や各地域の商工会の事務局の方々には温かいご支援、ご協力をいただき感謝している。引き続き、このつながりを大切にしていきたい。

その反面、庁内で所有する企業などの地域貢献活動情報の把握が十分できなかったことは反省材料であり、市民活動センター単独の取り組みとならないよう、この調査結果の庁内での共有はもちろんのこと、事業実施段階においては、さらなる庁内連携が必須である。

市民活動センターの使命は、市民活動の活発な市民主体の豊かで活力ある地域社会の実現をめざすものである。

初めての試みである「企業における地域貢献活動に関する調査」の結果や、そこで得たつながりは市民活動センターの大きな財産となった。このことを生かし、多様な主体によるまちづくりに新たな好循環を生みだし、市民活動センターが標榜する「産官学民が連携するまちづくり」をさらに進化させていきたいと考えている。

V 資料

- ★「企業の地域貢献に関するアンケート」 回答用紙
- ★「企業の地域貢献に関するアンケート」 対象企業一覧

★「企業の地域貢献に関するアンケート」 回答用紙

Q 1 町内会や自治会といった地縁団体やNPOなどの市民活動団体、学校などと日頃から関わりをもって、連携して活動をしていることがありますか。(いずれかに○をつけてください。)

例) 地域の一斉清掃への参加や通学児童の見守り、インターンシップやキャリアスタートウィーク(中学生の職業体験)の受け入れなど

	ある (具体的に)
	ない

Q 2 Q 1の活動も含め、その他に「企業の地域貢献活動」に取り組んでいますか。(いずれかに○をつけてください)

	取り組んでいる (以下Q 3～Q 12についてお答えください)
	取り組んでいない (Q 10～Q 12についてお答えください)

※企業の地域貢献活動とは

企業が直接実施する活動で、地域又は市民活動団体などとの連携・協力、寄附など、また、社員が行うボランティア活動を制度面で支援するなどにより、地域社会に貢献する活動を言います。

Q 3 どのような分野の取り組みですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 保健・医療又は福祉の増進を図る活動
	② 社会教育の推進を図る活動
	③ まちづくりの推進を図る活動
	④ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
	⑤ 環境の保全を図る活動
	⑥ 災害救援活動
	⑦ 地域安全活動
	⑧ 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
	⑨ 国際協力の活動
	⑩ 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
	⑪ 子どもの健全育成を図る活動
	⑫ 情報化社会の発展を図る活動
	⑬ 科学技術の振興を図る活動
	⑭ 経済活動の活性化を図る活動
	⑮ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
	⑯ 消費者の保護を図る活動
	⑰ その他 (具体的に) []

Q 4 何を目的として取り組んでいますか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 企業の経営理念として
	② 企業イメージのアップのため
	③ 社員の士気を向上させるため
	④ 顧客の信頼・満足度を向上させるため
	⑤ 減税や補助金などを活用するため
	⑥ その他 (具体的に)
	{ }

Q 5 どのような手法・手段による取り組みですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 寄附金、助成金などの資金援助
	② 公益信託の受託
	③ 自社が保有する技術、ノウハウの提供
	④ アダプト (公共施設里親) 制度への参加
	⑤ 環境負荷、軽減への積極的な取り組み
	⑥ 社員が行うボランティア活動への支援
	⑦ 会議室やホールなど、自社が所有する施設の開放
	⑧ 自社製品の提供
	⑨ 不特定多数の市民を対象とした講演会、コンサート、相談会などの主催
	⑩ NPO法人への社員の派遣
	⑪ 自社の地域貢献活動又は社員のボランティア活動を自社のホームページで情報発信している
	⑫ その他 (具体的に)
	{ }

Q 6 企業や社員の地域貢献活動に関することについて、社是、社訓や就業規則に明文化・制度化されたものがありますか。(いずれかに○をつけてください。)

例) 地域貢献活動に関する方針、社員の行動規範、ボランティア休暇制度、社員の顕彰制度など

	ある (具体的に)
	ない

Q 7 地域貢献活動に取り組んで、よかったことは何ですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 社員の士気が向上した
	② 顧客の信頼・満足度が上昇した
	③ 売上げが増えた
	④ 就職希望者が増えた
	⑤ 特にない
	⑥ その他 (具体的に) 〔 〕

Q 8 取り組んでいる場合、自慢の取組みを教えてください。

〔 〕

Q 9 地域貢献活動に取り組んで、悪かったことは何ですか。(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 経費の負担が増した
	② 期待したほどの効果はなかった
	③ 行政に過度に期待される
	④ 特にない
	⑤ その他 (具体的に) 〔 〕

Q 10 企業が地域貢献活動に取り組むにあたって、課題や支障となっていることは何ですか。

(該当するものすべてに○をつけてください。)

	① 目的がはっきりしない
	② 取り組むノウハウがない
	③ 活動資金がない
	④ 人的余裕がない
	⑤ 社員の士気が低下 (労働時間の増加など)
	⑥ 社員個人の意思に任せている
	⑦ 関心がない
	⑧ 課題はない
	⑨ その他 (具体的に) 〔 〕

Q 1 1 企業が地域貢献活動に取り組む場合、行政からどんな支援があるとよいですか。

()

Q 1 2 今後、地域貢献活動の範囲を広げる予定がありますか。また、今後、地域貢献活動に取り組む予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)

	ある(具体的に) ()
	検討している(いつ頃) ()
	ない(その理由) ()

ご協力ありがとうございました。

★ 回答いただいた内容について、聞き取りをさせていただくことがあります。その際にご連絡させていただきますので、次の欄に記入をお願いします。

なお、記入していただいた内容については、聞き取りが必要な場合の連絡用のみに利用させていただきます。

企業の名称	
企業の所在地	
従業員数(パートなど含む)	
主な業種	<input type="checkbox"/> 1 農業・林業・漁業 <input type="checkbox"/> 2 建設業 <input type="checkbox"/> 3 製造業 <input type="checkbox"/> 4 運輸・通信業 <input type="checkbox"/> 5 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> 6 金融・保険業 <input type="checkbox"/> 7 卸売・小売業・飲食店 <input type="checkbox"/> 8 不動産業 <input type="checkbox"/> 9 サービス業 <input type="checkbox"/> 10 その他()
記入者氏名	
担当部署/連絡先	/

★ その他、市に対するご意見など、何でも自由にご記入ください。

()

★「企業の地域貢献活動に関するアンケート」 対象企業一覧

地域	企業名			
廿日市地域	デリカウイング株式会社	マネジメント総研株式会社	株式会社山崎本社	株式会社シブヤ
	昭和教材株式会社	カルビー株式会社 広島西工場	占部建設工業株式会社 広島支店	株式会社中電工 廿日市営業所
	木下運送株式会社	三共ディスプレイ株式会社	株式会社ウッドワン	広島セレモニー株式会社
	中国醸造株式会社	有限会社日新電設	株式会社A & C	株式会社広島銀行 廿日市支店
	三共ポリエチレン株式会社	広栄社株式会社	広島ガス株式会社 廿日市工場	株式会社中村酸素 廿日市営業所
	永本建設株式会社	株式会社猫本策三商店	広島県中小企業共済共同 組合	中国興業株式会社
	株式会社スーパーふじおか	株式会社エディオンWEST	中国電力株式会社 廿日市営業所	山陽興業株式会社
	有限会社森井薬局	安田金属株式会社		
佐伯地域	佐伯中央農業協同組合 津田支店	佐伯森林組合	佐伯商工会	佐伯郵便局
	社会福祉法人佐伯さつき会 さいきせせらぎ園	マックスバリュ西日本(株) 佐伯店	(株)キーレックス 原工場	中本造林(株)
	佐伯醤油(有)	(有)アンツリー		
吉和地域	クヴェーレ吉和	広島県立もみのき森林公園	梶広建設株式会社	吉和建設株式会社
	株式会社中沢商事	魅惑の里	吉和川漁業協同組合	広兼産業株式会社
	農事組合法人よしわ			
大野地域	株式会社A & C	株式会社竹内	洞井電気工事株式会社	株式会社みせん本舗
	株式会社広電宮島ガーデン	有限会社おきな堂	広島信用金庫宮島口支店	公和物産株式会社有限会社
	大野屋クリーニングセンター	大野町漁業協同組合		

企業の地域貢献活動に関する調査 結果報告

発行：平成 23 年(2011 年) 1 月

廿日市市自治振興部地域協働課（廿日市市市民活動センター）

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目 2 番 1 6 号 廿日市市市民活動センター内

TEL 0829-32-3810 FAX 0829-32-3742